|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野名 | ビジネス情報分野（ソフトウェア活用） | |
| 教科書 | ソフトウェア活用（実教出版） | |
| 単　元 | 章 | --- |
| 節 | --- |
| 教材の  タイトル | ソフトウェア活用ビジネスプレゼンテーション | |
| 教材からの学び | １　ソフトウェアの活用について体系的・系統的に理解できる。  ２　ソフトウェアの活用に関する課題を発見することができる。  ３　ビジネスに携わる者として創造的に解決する力を養う。  ４　改善する力の向上を目指し、組織の一員として自己の役割を理解して当事者意識をもち、学び続ける態度を養う。 | |
| 時間数 | ４時間 | |
| 授業の  進め方 | ＜ソフトウェア活用ビジネスプレゼンテーション＞  １　目標確認と授業の進め方について説明する。（10分）  ２　経済社会における課題を発見する。自身がこれまで探究してきた内容や興味関心がある分野などから、よりよい社会の実現に向けた課題を見つける。（15分）  ３　類似した課題を探し、ソフトウェアを活用してどのように解決したのかを調べる。また、そのシステムやプログラムなど詳細についても記録する。（25分）  ４　調べた事例をもとに前時に記入した課題内容を解決するための方法を考える。ただし、ソフトウェアの活用に関する取組や内容も具体的に記述する。（20分）  ５　ソフトウェアを活用した課題解決の方法についてグループに分かれて相互評価する。質疑応答を含めてグループ内の全員が他者からの評価を受けられるように留意する。（30分）  ６　前時の振り返りを行い、プレゼンテーションの構成を考える。（15分）  ７　効果的なプレゼンテーション資料を作成する。（35分）  ８　目標の確認とプレゼンテーションの評価方法について説明する。（５分）  ９　プレゼンテーションを実施し、評価票に記入する。（45分） | |

ソフトウェア活用ビジネスプレゼンテーション　授業計画

■本単元の位置付け

　総括

■本単元の目標

１時間目

自身が探究してきた内容や興味関心がある分野などから、よりよい社会の実現に向けた課題を見つける。その課題を解決するうえで、ソフトウェアをいかに活用するか考える。また、類似した課題をどのように解決したか調べることで、ソフトウェアの活用について体系的・系統的に理解する。

２時間目

成功事例や改善事例などから科学的な根拠をもとに創造的に課題の解決をする。また、他者と情報を共有して協働的に取り組むことで、課題解決に向けて主体的に学び続ける態度を養う。

３時間目

効果的なプレゼンテーションを目指して、発表の構成や資料を作成する。ルーブリックを確認し、高評価を得られるように工夫して取り組む。

４時間目

　プレゼンテーションの実施と評価票の記入を行う。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

・ソフトウェアの活用について体系的・系統的に理解している。

・類似した課題についてソフトウェアをいかに活用して解決したか具体的に調べられている。

【Ｂ】思考・判断・表現

・科学的な根拠をもとに解決の方法を考えることができる。

・他者の解決案について、よりよく改善するための考えを説明できる。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

　・改善する力の向上を目指し、主体的に学び続けることができる。

・組織の一員として自己の役割を理解して当事者意識をもち、課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。

■留意事項

　・課題の解決について、ソフトウェアを活用することを前提に考えさせる。

　・課題が見つからない場合は、自身の住む市町村の総合計画などから考えることも有効である。

　・ソフトウェアやアプリケーションなどを活用することでより利便性が高まり、快適になった事例を探すことが大切である。特に自身の課題を解決するうえで参考になる事例を見つけることが根拠としての厚みが出るため重視させる。

　・プレゼンテーションの時間については、全員が発表する方法やグループ内で一人を選ぶ方法、発表者を教員が抽出する方法など、状況と時間により変更する。評価票については妥当なものを使用すること。

**ソフトウェア活用ビジネスプレゼンテーション**

目　標：ソフトウェアの活用に関する課題を発見することができる。

　　　　改善する力の向上を目指し、組織の一員として自己の役割を理解して当事者意識をもち、学び続ける態度を養う。

〇　社会が抱えている課題（自身の探究内容、興味関心がある分野など）

|  |  |
| --- | --- |
| 表　題  タイトル |  |
| 概　要  現　状  理由など |  |
| 課題内容 |  |

〇　類似した課題に対してソフトウェアを活用することで解決した成功事例や改善事例

|  |  |
| --- | --- |
| 表　題  タイトル |  |
| 事　例 |  |

〇　前述の事例など科学的な根拠に基づいたソフトウェアを活用した課題解決

|  |
| --- |
| 調べたこと・思考や工夫したことメモ |

〇　プレゼンテーションの構成

|  |  |
| --- | --- |
| 序　論 | 自身の意見や主張 |
| 本　論 | 自身の意見や主張を裏付ける理由や根拠 |
| 結　論 | 自身の意見や主張を強調、未来に向けての解決策や行動計など、今後の課題や提案も効果的 |

〇　学んだことや感じたこと、身に付けたことなどの振り返り

|  |
| --- |
|  |

　年　　　組 　　番　氏名

プレゼンテーション評価票　　　　　　　　　　　年　　組　　番　氏名

【ルーブリック】プレゼンテーション

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評　価　基　準 | | | | |
| 期待以上  ５ | 十分満足  ４ | 満足  ３ | 努力  ２ | 相当の努力　　　１ |
| 1 | 内容 | テーマに沿う形で論旨が明確、非常に興味深い内容であった | テーマに沿う形で論旨が明確、興味をひく内容であった | テーマに沿う形で発表できていた | テーマとの関連性はあるものの、内容が明確ではない | テーマに沿う内容ではない |
| 2 | 構成 | 内容をより明瞭にするため、論理の展開を工夫していた | 全体を通して筋道が通っており、明瞭だった | 全体を通して筋道が通っていた | 一部筋道が通っていた | 筋道が通っていない |
| 3 | 表現力 | 豊富な語彙、適度な間、話の抑揚などの表現力にあふれ、聞き手に熱意が伝わるように話せていた | 身振り手振りを効果的に使い、語りかけるように話せていた | アイコンタクトを取りながら、聞き手に伝わるように話せていた | ほとんど原稿を見ながらだが、聞き手に伝わるように話せていた | 聞き手に伝わりにくい |
| 4 | スライド | 配置や余白などにも気を配り、聞き手が内容を理解しやすいような細かい配慮ができていた | 図表やグラフなどを効果的に使用し、聞き手が内容を理解しやすいような工夫ができていた | 文字のサイズや色などを工夫し、図表やグラフなどを取り入れていた | 強調部分の文字サイズや色など、聞き手の注意を引く工夫ができていた | 記載内容が乏しく、伝えたい内容をわかりやすく示せていない |

〇　自己評価

(1) 好奇心

新しいこと、知らないことに興味をもてたか。　　　　　　５　　４　　３　　２　　１

(2) 規範意識

状況を理解し、活動すべき内容に真摯に取り組めたか。　　５　　４　　３　　２　　１

(3) 協調性

他者との関係を適切に構築できたか。　　　　　　　　　　５　　４　　３　　２　　１

(4) 授業に臨む姿勢

主体的に活動し、学びを深めようと意欲的に取り組めたか。５　　４　　３　　２　　１

(5) 自己満足度

活動を振り返り、総合的に自分の取組に満足できたか。　　５　　４　　３　　２　　１

* プレゼンテーションについては自身の欄に記入すること。

〇　他者評価（左記ルーブリックの内容をしっかりと確認しておくこと）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番 | 氏　　名 | １ | ２ | ３ | ４ | 計 | メ　　モ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

　　　年　　　組　　　氏名

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番 | 氏　　名 | １ | ２ | ３ | ４ | 計 | メ　　モ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

　　　年　　　組　　　氏名